

※ 今週のアウトロク(1/11~1/14)

先週の金曜日に発表された米国雇用統計は失業率こそ改善されたものの非農業部門雇用者数は市場予想を下回るものでした。

その結果を受けて、NY市場終了時まである程度円高が進むこととなりました。

今週は、雇用統計の結果がどのように影響してくるのかをまずは見極める必要がありますが、ドル売りがどの程度進むのかを確認したいところです。

先週のドル円は火曜日に115.5円付近のレジスタンスブレイクに成功すると、116円台中盤までドル高が進みましたが、週末にかけては115.5円付近まで下落しそのまま週末を迎えています。

今週は週初めの早い時期にリバウンドできるかどうかポイントとなりそうです。このところの上昇が急ピッチであったため、テクニカル的にはそろそろ利益確定に押されて、下落する可能性を示唆するものも多く、もたついてしまった場合にはある程度の調整する可能性が強まりそうです。

ドル円の予想レンジは114円から117円です。

先週ユーロ円は概ね130円から132円付近のレンジで推移しました。テクニカル的には上昇トレンドはまだ崩れていないようです。

今週は132円付近のレジスタンスをブレイクできるかどうかポイントとなりそうですが、なかなかブレイクできない場合には、再び129円付近まで調整する可能性も高まりそうです。

ユーロ円の予想レンジは129円から133.5円です。

ポンド円も156円付近のレジスタンスブレイクに成功したものの158円付近のレジスタンスに苦戦しているようです。今週ブレイクできる可能性は5割程度と考えています。

ポンド円の予想レンジは154円から160円です。

オミクロン株の広がりに伴い、NYダウ、日経平均などは下落傾向が続いています。このあたりの影響が為替にどう影響するのかを、きちんと見極める必要があります。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。